

2021年1月20日
2021年2月22日改訂
公益社団法人 日本医師会

病床数の国際比較

1. 総病床数	1
2. 急性期病床およびリハビリ病床	3
3. 慢性期関連の病床および施設定員	5

新型コロナウイルス感染症流行下において、「日本は諸外国に比べて病床数が多いにもかかわらず、なぜ『医療崩壊』が進んでいるのか、医療関係者の努力が足りないのではないか」という指摘がある。「諸外国は日本より患者数が多く、かつ病床数が少ないのに、まだ対応できているのではないか」という声がある。

そこで日本およびG7の病床数について、OECDのデータをもとにあらためて確認しておきたい。

2021年1月20日資料では、「日本およびフランスを除いて、G7各国では精神科領域は別掲であり、総病床数に精神病床（Psychiatric care beds）を含まない。」と記述していましたが、正しくは、各国とも精神病床を含むものの精神病床はかなり少ないとすべきでした。1頁を下線部のとおり修正します。2021年2月22日

1. 総病床数

1. 日本の 2018 年の総病床数は 1,641,407 床、人口 1,000 人当たり総病床数 (Total hospital beds) は 13.0 床である (表 1.1)。総病床数は、病院および有床診療所の一般病床、療養病床、病院の感染症病床、結核病床、精神病床の合計である。日本は精神病床が多く、これが総病床数を押し上げている面もある。
2. 総病床数が全国計ではない国もある。米国では 2016 年まで全米病院協会 (AHA: American Hospital Association) 登録病数が対象であり、英国では民間セクターを含まず、救命救急や集中治療室等を含まない地域もある¹。
3. 日本が OECD に報告している Curative care beds (以下、急性期病床と呼ぶ) には、一般病床の回復期リハビリテーション病棟が含まれる。諸外国では、Rehabilitative care beds (以下、リハビリ病床と呼ぶ) は急性期病床とは区分されている。

¹ 英国は、地域 (England、Northern Ireland、Wales、Scotland) ごとにデータソースや集計範囲が異なる。

表 1.1 総病床数の国際比較

人口1,000人当たり病床数 (床/人口1,000人)

	調査年	Total hospital beds 計	Curative care beds 急性期	Rehabilitative care beds リハビリ	Long-term care beds 長期ケア	Other hospital beds その他	Psychiatric care beds 精神
カナダ	2019	2.5	2.0	0.1	0.4	0.0	0.4
フランス	2018	5.9	3.0	1.6	0.5	0.8	0.8
ドイツ	2017	8.0	6.0	2.0	0.0	0.0	1.3
イタリア	2018	3.1	2.6	0.4	0.1	0.0	0.1
日本	2018	13.0	7.8	—	2.6	2.6	2.6
英国	2019	2.5	内訳の報告なし				0.4
米国	2017	2.9	2.5	0.1	0.2	0.1	0.3

病床数 (床)

	調査年	Total hospital beds 計	Curative care beds 急性期	Rehabilitative care beds リハビリ	Long-term care beds 長期ケア	Other hospital beds その他	Psychiatric care beds 精神
カナダ	2019	94,677	74,069	4,491	15,921	196	13,632
フランス	2018	395,670	203,662	105,550	31,081	55,377	55,377
ドイツ	2017	661,448	497,182	164,266	0	0	106,176
イタリア	2018	189,753	156,216	25,119	8,418	0	5,358
日本	2018	1,641,407	983,700	—	328,015	329,692	329,692
英国	2019	163,873	内訳の報告なし				23,658
米国	2017	931,203	809,880	21,319	60,295	39,709	82,489

日本の急性期は一般病床、感染症病床、結核病床の合計。

日本のCurative (acute) care beds (急性期)は一般病床で、一般病床の回復期リハビリテーションを病棟を含む。

日本のLong-term care beds (長期ケア)は療養病床で、療養病床の回復期リハビリテーション病棟を含む

英国は民間セクターを含まない。 *OECD Health Statistics 2020から作成

日本の内訳(2018年) (床)

	一般病床	感染症病床	結核病床	小計	療養病床	精神病床	計
病院	890,712	1,882	4,762	897,356	319,506	329,692	1,546,554
有床診療所	86,344	—	—	86,344	8,509	—	94,853
計	977,056	1,882	4,762	983,700	328,015	329,692	1,641,407

*厚生労働省「平成30年医療施設(動態)調査」から作成。歯科診療所を含まない。

日本の最近の状況(2020年10月) (床)

	一般病床	感染症病床	結核病床	小計	療養病床	精神病床	計
病院	887,468	1,886	4,147	893,501	292,060	324,921	1,510,482
有床診療所	79,850	—	—	79,850	7,018	—	86,868
計	967,318	1,886	4,147	973,351	299,078	324,921	1,597,350

*厚生労働省医療施設動態調査(令和2年10月末概数)から作成。歯科診療所を含まない。

2. 急性期病床およびリハビリ病床

日本は急性期病床とリハビリ病床を区分していない²ので、急性期病床とリハビリ病床の合計で、諸外国と比較するしかない。

急性期病床とリハビリ病床を合計した人口 1,000 人当たり病床数は、日本は 7.8 床であり、ドイツの 8.0 床よりも少ない（表 2.1）。とはいえ、日本の急性期関連（急性期、リハビリ）は諸外国に比べて多い。このことについて、慢性期関連の病床数も確認しておく必要がある。

² 医療法第 7 条第 2 項では、一般病床について、精神病床、感染症病床、結核病床及び療養病床以外のものをいうとされている。

表 2.1 急性期病床およびリハビリ病床の比較

急性期病床+リハビリ病床 (床)

		調査年	Curative care beds	Rehabilitative care beds	計
			急性期	リハビリ	
病床数	カナダ	2019	74,069	4,491	78,560
	フランス	2018	203,662	105,550	309,212
	ドイツ	2017	497,182	164,266	661,448
	イタリア	2018	156,216	25,119	181,335
	日本	2018	983,700	—	983,700
	病院のみ	2018	897,356	—	897,356
	米国	2017	809,880	21,319	831,199
人口1,000人 当たり 病床数	カナダ	2019	2.0	0.1	2.1
	フランス	2018	3.0	1.6	4.6
	ドイツ	2017	6.0	2.0	8.0
	イタリア	2018	2.6	0.4	3.0
	日本	2018	7.8	—	7.8
	病院のみ	2018	7.1	—	7.1
	米国	2017	2.5	0.1	2.6

*“OECD Health Statistics 2020”から作成

3. 慢性期関連の病床および施設定員

日本の Long-term care beds（以下、長期ケア病床と呼ぶ）は、療養病床のことで 334,297 床（2017 年）である。日本の 65 歳以上人口 1,000 人当たり長期ケア病床数は 9.5 床で、G7（英国を除く）の中でもっとも高い（表 3.1）。

Beds in residential long-term care facilities（以下、長期居住型病床と呼ぶ）は、日本では介護老人福祉施設と介護老人保健施設の合計で、65 歳以上人口 1,000 人当たり病床数は 24.1 床と、日本の長期居住型病床数は G7 の中では少ない。諸外国では、ナーシングホームがある場合には、長期居住型病床にナーシングホームを含む。

日本の長期居住型病床数のデータソースは、厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」である。同調査には都道府県が回答する基本票と、施設・事業所が回答する詳細票がある。詳細票は 2017 年までは全数調査であったが、回収率の関係もあり、事業所数が基本票よりも少なく出ている。この少ない詳細票のほうを OECD に報告している³。

日本の 65 歳以上人口 1,000 人当たり長期ケア病床数と長期居住型病床数の合計は、ドイツ、フランスと比べると大幅に少ない。

以上から、日本の人口当たり急性期病床（リハビリ病床を含む）はドイツよりは少ないが、米国、フランス、カナダよりも多い。一方で慢性期に対応する病床（長期ケア病床、長期居住型病床）は、日本では高齢者人口に比べて少ない。

各国とも病床数は当該国の医療制度やこれまでの歴史の結果であり、単純には比較できない。

³ 2018（平成 30）年以降は標本調査で全体を推計。

表 3.1 長期ケア病床および長期居住型病床の比較

長期ケア病床＋長期居住型病床 (床)

		調査年	Long-term care beds	Beds in residential long-term care facilities	計
			長期ケア	長期居住型	
病床数	カナダ	2018	15,920	346,036	361,956
	フランス	2018	31,081	658,713	689,794
	ドイツ	2017	0	952,367	952,367
	イタリア	2018	8,418	253,642	262,060
	日本	2017	334,297	846,316	1,180,613
	米国	2016	58,686	1,643,670	1,702,356
65歳以上人口1,000人当たり病床数	カナダ	2018	2.5	54.4	56.9
	フランス	2018	2.4	49.9	52.3
	ドイツ	2017	0.0	54.4	54.4
	イタリア	2018	0.6	18.6	19.2
	日本	2017	9.5	24.1	33.6
	米国	2016	1.2	33.4	34.6

長期居住型施設の最新データがある年に合わせている。
 ナーシングホームがある国は長期居住型病床にその数を含む。
 *”OECD Health Statistics 2020”から作成

日本の内訳 (床)

	2017年		2019年	
	基本票	詳細票	基本票	詳細票
介護老人福祉施設	542,498	502,678	569,410	570,647
介護老人保健施設	372,679	343,638	374,767	374,838
小計	915,177	846,316	944,177	945,485
介護医療院	—	—	15,909	15,932
介護療養型医療施設 (介護療養病床)	53,352	50,325	34,039	34,244
計	968,529	896,641	994,125	995,661

「基本票」は都道府県の回答、「詳細票」は事業者の回答(回収率の関係で少ない)
 *厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」からの作成

(参考) (床)

	2017年	2018年	2019年
有料老人ホーム定員数	518,507	549,759	573,541
サービス付き高齢者向け住宅(戸)	225,374	239,289	250,352

*厚生労働省「社会福祉施設等調査」、一般社団法人高齢者住宅協会「サービス付き高齢者向け住宅の登録状況」から作成。サ高住は12月末データ。